

ことばの資源性に関する研究

研究の概要

- ことばのもつ社会的な役割を資源として捉え、文化的価値の可視化における提案とその効果について検証します。
- 「ことばは命を守れるか」をテーマに防災・減災におけることばの伝承力を高める研究に取り組みます。



キーワード



- 文化振興活動
ことばを活用した地域づくり
- 地域社会活動
ことばを活用した防災・減災対策

連携アピール



地（知）の拠点整備事業（COC事業）の事業推進責任者として地域課題の解決に取り組んできました。ことばの調査を通じて、地域の文化的資源の活用についても広く関心を持ち、地域社会に貢献できるよう取り組みを進めています。

- 三重弁辞典（2025年版三重県民手帳、令和6年10月）
- 「高知県西部の地震津波記念碑の伝承内容と方法について」（皇學館大学文学部紀要第60輯、令和4年3月）
- 伊勢市の花・木・鳥選考委員会答申（伊勢市ホームページ、令和3年12月）
- 三重県内ファミリーマート設置イーネットATMの方言音声案内の構築（平成28年12月）
- 伊勢方言かるた（リントス、平成26年1月）

研究者



齋藤 平
SAITO Taira

教授 博士（文学）
文学部 国文学科

